ぽっかぽか　りすぐみ11月

保育室の中央扉が解放されてから１カ月。子ども達もこの環境に慣れてきました。
少しずつランクアップしたおもちゃで楽しんだりイスに座って遊ぶ時のお約束もわかってきて、
より一層楽しんでいる様子です。

元気いっぱい外遊び！

屋上園庭や長久保公園で遊ぶ機会が増えてきましたが、お水遊びの約1カ月を経て、子ども達の身体も大きくなりいろいろな面で成長して遊び方も変わってきました。

広場を追いかけっこしての小走りもより速くなり、斜面を上るときにはちょっとバランスを崩してもへっちゃら！自分で体勢を直して、時には手をついてよじ上っています。コンテナと板を使っての橋渡りにもとっても意欲的に参加しています。“体力、身体の機能の成長”と、“やりたい気持ち”のバランスがよくなってきたということですね☺

自然物を通しても、発想とことばが豊かになってきました。長久保公園にはちょうちょやトンボが飛んでいたり、このごろは色づいた葉っぱがひらひと…「はっぱ　あった」「どうぞ」と大人とやりとりをしたり頭に当てて『うさぎの耳』にしてみたりと、かわいらしい姿がたくさん見られます。大人は、「さむいね」「おひさまぽかぽかだね」「お空が青くてきれいだね」など、より興味を持てたり言葉の表現が広がるよう話しかけています。

外遊びといえば、靴や靴下の着脱ですが、こちらもみんな意欲的！ちょっとずつちょっとずつの練習を重ね、自分ではける子がとっても増えてきました～すごい☆脱ぎ履きしやすい靴下や靴だと、やりたい気持ちが一層パワーアップしますので、時折点検と準備をお願いします☺

ことばでつたえる

おとなとのやりとりや、お友達とのやりとりも少しずつことばでできるようになってきて、楽しんでいる様子のりすぐみさん。そんななか、できないことがある時、手伝ってもらいたいときなどに「ん！」だけで伝えようとしたりぐずることで伝えようとしたりする場面も見られます。『やってって言うんだよ』と伝えると泣かずにちゃんと「やって」と言えるようになり、もちろんすぐに手伝ってもらって満足そう！

小学校では、“困ったときに自分でことばで伝えられること”がとても重要だそうです。まだ先の話に感じるかもしれませんが、その時になって急に言えるようになるわけではないので、ことばが増え、伝える喜びを感じるようになってきている今から、「やって」と言ったら手伝ってもらえる、助けてもらえるという経験をたくさんすることで、自然に“ことばで伝えること”が身に付いてほしいなと思っています。おともだちと協力し合って遊ぶためにも、大切にしていきたいですね。

おねがい　だんだんと戸外が肌寒い日が増えてきました。薄手の外遊び用の上着をお持ちください。
受け入れ掲示板にもご案内しましたが、子ども達が身体を動かしやすく、汗をかいてしまわない様、
“薄手”“フードのないもの”“脱ぎ着しやすいもの”の用意のご協力をお願いします。
厚いものが必要になってきましたらまたご案内します。
朝履いて登園しているオムツや、服や持ち物に必ず名前を書いてください。